

Journal of Robotics and Mechatronics

"Mobiligence: Emergence of Adaptive Motor Function through Interaction among the Body, Brain and Environment" の論文募集

日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門 欧文誌 Journal of Robotics and Mechatronics, Vol.19, No.4, August 2007 では, 下記の特集号の論文を募集しています。奮ってご投稿くださいますようお願い申し上げます。

特集: "Mobiligence: Emergence of Adaptive Motor Function through Interaction among the Body, Brain and Environment"

掲載号: Vol.19, No.4 (2007年8月20日発刊予定)

担当エディタ: 浅間 一 (東京大学人工物工学研究センター),
太田 順 (東京大学大学院工学系研究科)

投稿締切: 2006年12月29日(金曜日) 2007年1月9日(火曜日)

投稿要項: 原稿の様式は自由です。また, 和文, 英文どちらでも結構です。和文の原稿は翻訳されて, 原著者による校訂後に掲載されます。末尾の原稿送付先アドレスに原稿を PDF 形式でお送りください (PDF ファイルの作成が不可の場合は, 印刷原稿 3 部を郵送ください)。その他, 次の HP をご参照ください。

<http://www.hfl.hiroshima-u.ac.jp/jrm/>

査読: 応募論文は, 本誌への一般論文と同一の査読手続きを経て, 掲載の決定がなされます。査読の結果, あるいは査読の時間制約が生じた場合には, 一般論文として他の号での掲載となることがあります。

特集号趣旨: 動物は, 自身が有する行動能力により, 多様な環境下で適応的に振舞うことができます。このメカニズムの解明およびロボティクスへの適用を目指した場合, 行動によって知覚, 認知し, それが行動を生むという連関で適応的行動の知を捉える必要があると考えられます。このように, 動くことで「脳」と「身体」と「環境」の動的な相互作用が生じ, それによって適応的行動能力が発現するという考え方を, 移動知(Mobiligence)と呼んでいます。

本特集号では, 上記移動知に関連する研究, 例えば, 環境への適応能力, 身体の適応能力, 社会への適応能力, 移動知の共通原理等に関する成果を広く募集します。

問い合わせ・原稿送付先:

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻

太田 順

Tel. 03-5841-6456, Fax. 03-5841-8547

E-mail: ota@prince.pe.u-tokyo.ac.jp

整理の都合上御投稿は上記エディタ宛にお願いいたします。日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門, 出版社へは送らないようお願いいたします。